夕刊
警城新聞
七月三日發行
定價 一部金六錢 月極金五錢
東京賣捌所 一〇六五五八番

貯蓄強調入選文集（八）

＝平第二校兒童作品

目覺の貯金へ

高二ノ二　西郡京子

『一億一心百億貯蓄』これが銃後私達の大使命、日本は今尙聖戰東亞の新秩序の建設に邁進し大成果を收めつゝあります。これ皆戰地にある兵隊さん達の盡忠報國の血潮のほとばしりかと深く感激に堪えません銃後の私達靜かに胸に手をあてその皇軍の武運長久を祈い心の奥底に強くながいつかすば居られない銃後の國民として手に手をとつてたゝねばならぬ何物かを考へさせられます、御不自由なきお働きをしていたゞくための或は御負傷に對して⊙お手當等もつと〳〵細やかに考入ます時その費用の少しだに懸念される樣な御心配をおかけする樣なことがあつてはと常に小さな胸にも感じて居りました。長期戰私達は銃とる恩ひを分ち思ふ時まだ〳〵貯金のゝゆうあると思はせられると同時に皆々手に手をとつて何の百億圓これから先如何程の金が必要とあつてもそれに備へる決心に生き〳〵と待ちかまへて居ります、身のまはりを整理してみますと本當にむだあり、これもお國の爲にあれもかれも生きて働くものが貧しき生活をしてゐる私の家でさへたくさんあります。私達はまだ〳〵今までの安逸生活から脱しきれないでゐるのではないでせうかおたがいに目覺めたいものです消費をもつと〳〵省いて行ぎます、一寸町を歩いてみるもつとお國の非常時をにんしきしていただきたいなど思はせられることが度々あります、おれがいはもつと目覺め合ひ國家的立場からの貯金に進んで〳〵參加いたしませう。お國の非常時とある時無理して貯金貯金で報國の精神を顯現することがともなはさづ眞に國民としての國民たり得られると信じます。形の日本人ではない神ながらの血潮の通ふ日本人であるかぎり何の強調されるまでもない、目覺の貯金へ一歩進まませう。

あゝ昌子（4）

晩霞生

○逝きし子。
　忘れむすべに猫も犬も飼ひたれ心慰さます。
○わもつ　しや亡にし子を又語り合ゝて涙拭へり
　あゝ　ぬ時を
○
　ひが靈に香焚きあへず泣きくづるるかゝる親し
　友もありしを
○母と三人鵜の森還くさすらひしたぬしき思出ま
　さびー今日は

贈星三郎君

球雲　小野勝平

君臥床三年、歸依佛道癒後、再入實業界
既倒會社再起四五、
可三壯
三年臥病且回生
佛德便加心氣時れ
活躍比前知樂人倍
日新蹟萬人驚

高原に咲く草花や夏の霧

冬草

恩讐無道

（142）

久我莊多郎
香川三十代畫

■人物■巻■

異人屠敵（十一）

7月4日

△米國獨立（一、七七六）△德川家定薨ず（安政五）△長江進攻の皇軍湖口を占領（昭和一三）

講談

そこの薄暗い扉口へ、顔を出したのは吉松である。

『なに？』

もの憂く振向いたお樂。

『田原さんて人が……』

『金さんが？……來たのかい？』

『へい』

『ちや、こちらへ通してゝくれ』

言葉の姿はすぐ消えて、足音だけが遠くに聞えてゐた。

やがて、陽のある金四郎の顔で、

『わかつてるんだ。案内には及ばねね。この家の樣子は、すつかり呑んでゐる。わかつたよ』

先に立つて案内しやうとする吉松を、押しとどめてゐるのだと知れた。

見てゐると、重い足音がのぼつて來て、ヒョイと顔を出した金四郎の、酒とどぶつてゐるのが鋭く光る目が、まづ第一にお樂の眸に付いた。

『あら、先生』

『今晩は……』

ぶつきら棒にいふ。

凄いほど蒼ざめた顔色だ。そして、體をふらふらさせてゐる。

『おはいりなさいませ。先生、また醉つてゐますね』

默つて、紐そりした金四郎の影が動いた。お樂の前にある椅子へドカリ腰をトろした。ふーッとため息を、腹の底から吐きだすのである。

『まあ、臭い。よほど召上つて來たんですね』

お樂は、いそいで着物の袖を、鼻の先へ運んだが、目は笑つてゐる。

『先生らしく相變らず、ウオツカとかジンだとか、きつい酒を飲んでゐらつしやつたのですね』

『ふむ、相變らず……』

と、醉つぱ男は、自嘲するやうに呟くのだ。

『まつたく、相變らずで仕樣がねえ。——時に、御門さんの姿は見えないが……』

『あの人、急に東京へ出かけた昔としてもへないか』

と、投げ出すやうにいつた。

『徐正樞、といひましたねあの支那人はたしか？いくら出すつていつてますの？』

『……』

『ねね、先生。どんな話になりました？あの神崎屋の娘、徐正樞の氣に入りました？』

『……』

默つてゐる。光澤のない顔を、ガス燈の灯へ向けてぢつとその光を見詰めてゐる。

お樂に、それが不審だつた。

『先生。どうかしたんですか？』

『……』

それでも、まだ默々たる金四郎であつたが、不意にお樂を見返して、

『奥さん。この話は無かつた昔としてもへないか』

『東京へ？ぢや、留守か』

『ねえ』

いま、金四郎を見て、とまざらはされた佗しさが、また、お樂の胸に伸びあがるのである。お樂は、目を伏せた。

『それぢやア話にならねね』

『アー——』

顔を上げたお樂は、立ち上らうとしてゐる金四郎だを見ると、

『先生、例の話なら、わたしが伺つて置きませう。わたしの心臟は弱くなつてゐるんだから……』

『ッ』

お樂は、目をみはつた。

『なんですッて？先生』

『いや、あの娘を、放してやつてもらはないだらうか』

『まあ！』

まち〳〵と、男の蒼い顔を見てゐたが、にはかに、込み上げる可笑しさが抑へ切れず、

『ほゝほゝ、びつくりさせちやいけませんわ、先生。わたしの心臟は弱くなつてゐるんだから……』

天氣豫報

小名濱測候所報告

今朝　北東の風曇がち
明日　北東の風曇
小雨

玉屋眼鏡店

實株は買ッテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
●支那事變公債四萬圓マデ買マス
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話二五八

夜診
胃腸性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）
療間

◇住宅地分讓◇
都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪
金より物の時代
安全の土地
市內の住宅難は近來各方面の膨脹發展に伴ひ其の深刻を加へ、往々他の大都市を凌ぐ家賃高は他から轉入の勤め人などをして常に悲鳴を擧げさせてゐる狀態で比較的永住性のある向では借地の上住宅の新築を計畫するものも少くないが、それすら不便なる舊城址その他鐵北方面を除いては差し當り恰好の場所が無く、當今の貸家貸地拂底はまさに市の一の社會問題と目されてゐる折柄、金成上附議員所有の市內第三小學校東北方正月町地內畑宜約二萬坪を。大小各種の希望に應じ夫々分讓する事となつたが同地は都心に近き宏濶な市の南郊で時節柄希望者も相當多數あることなるべく詳細は田町一九（電話七八七番）蓮沼方へ問合せられ度いと
大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市內田町一九蓮沼方（電話七八七番）へ御問合せ下さい

高島屋の洋服
學校中等學校
制服……大特賣
男女學生服
新入荷
品製既ニ並文注
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

小瀧の春
小瀧は招く
一日の清遊には……
どうぞ小瀧へ！
お迎へお送りに輕快な馬車の用意があります
鐵道指定旅館
割烹
小瀧
電話小名濱一〇三

外科一般
內臟外科
肛門病科
皮膚科
泌尿器科（婦人科）
生殖器科（性病科）
專門
平市字鎌田町
白土醫院
電二七九
（入院隨意）

吸入用酸素
純度99%
度量衡器計
モノサシ
マス
ハカリ
体温器
寒暖計
秤ノ取繕
垂糸・修繕致シマス。
關內藥局
電話四〇番

七月新譜中
街に野に山に！
愛染夜曲
新女性問答
追分道中
男召されて
流行歌
二三吉端唄小唄名盤特選一集發約募集中
▽洋樂名曲御知らせ
コロムビアレコード
悲愴交響曲　金弍拾三圓十錢
懷しの名曲集　拾參圓二十錢
ハワイアンアルバム　四圓九十五錢
テレフンケレコード
ウインナワルツ集　拾壹圓
ビクターレコード
シューマンウアイオリ協奏曲　拾參圓四十八錢
其他種々取揃へて御座います
ビクター　コロムビア　ラジヲ特約店
金光堂時計店
平市五丁目　電話一九五番

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價
一變せる勉强振りを、せひ一度お試ふ
織田材木商店
福島縣平市
電話平四六〇番
營業目錄
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田產杉四分板
建具材・便利瓦
◉小店員募集
年齡十五歳ヨリ廿歳迄

月曜論壇

哀悼吉田四郎氏

時局柄寛に掛け替えの無い國家の至寶的存在として人爲の最極限を悉くし、總有る人工營養を以てしても生かさねばならぬと而も國家的見地から各方面より祈念された中島飛行機製作所の吉田四郎氏が竟に溢焉として東宮の雲深く隱れた。市内白銀町の一郭に生れた現今發動機界に於けるこの超人的エンジニアを郷黨に有つ事によつて頗盼自ら維とした吾人は、今や動かすべからざる現實としてその長逝を惜しまねばならぬ事に萬斛の恨みを感ずる。

惟うに航空機の出現以來戰爭の形態は全然一變し、戰略及び戰術は革命的の變化を來した。從來の戰爭では戰闘員對戰闘員の勝敗を爭ふ戰場丈けにしか慘禍を及ぼさなかつたが、航空機の出現は戰線と云ふものを無くして一度國交が斷絶し、宣戰布告となり、又事變として兩國干戈を執つて起てば、全國民はその日から頭上に敵爆撃機の爆音を聽き爆彈、燒夷彈の閃めくを見ざるを得なくなつたのである。その事は今次の實例に徴すれば何等贅言を要さないであらう、然り淺薄な吾人の軍事的知識を以てすれども、現在の戰爭に從來の陸海軍力と相呼應する飛行機の所謂立体戰が、攻守共如何に重要な役割りをかつし居るかが判る。この航空機の變々脈搏つ强靭な心臓でもて、乾坤一擲の運命を支配する腦神經中樞たる發動機の一大完成こそは現下の國防軍備上最大吃緊事であらねばならない。聖戰既に二年、有史以來未だ曾て無い日本國民の飛躍期に於て大公翔ける荒鷲の姿こそ我等の力强い象徴でなくして何であらう。更に民間に於ても世にも壯絶な翼の王者の地球征服が計畫されつつある時今に於て之の方面に於ける神人一如の世界的權威たる氏を泉下に送つたことは現下の時勢に於て痛惜哀悼更に切なるものの無きを得ない。慶みて弔す

突發以來ここに二年
意義を認識せよ！
七日の記念行事決る

今事變勃發以來この七日で既に二年意義あるこの日を深く刻み込むべく各方面で夫々當日の催しを計畫してゐるが市の行事は既報の如く午前九時から公會堂で市民、各種團体參列の下に記念式を擧行後同十時子鍬倉、飯野八幡兩縣社で前線將士の武運祈願祭を執行する外

左記實施要項の通牒を發し擧國一致体制の下に愈々國家總力の增强をはかることゝなつた

一、各戸一齊に國旗を掲揚すること

一、各家庭に於ては黎明に起床し一家揃つて皇大神宮を奉拜し皇室の御安泰を祈り奉ると共に國威伸張を記念すること

一、當日正午を期し各々其の在處に於て戰歿將士の英靈を追悼し出征將士の武運長久を祈願すること尚この爲同時刻にはサイレン、鐘等を用ひ周知

一、官公署、學校、各種團体、會社、銀行、工場等に於ては『支那事變一周年に下賜せられたる勅語』の奉讀式を擧行すること

一、戰歿者の墓參をなすこと

料理藝妓屋自肅休業

料理藝妓屋組合ではこの日自肅休業をなし組合員一同が神社を參拜第一線勇士の武運を祈願し申し込めばよいと、通話は午前八時から午後十一時迄で料金は次の通りであると

最初の三分迄、番號通話普通八圓四十錢、至急倍額、指名通話十圓四十錢同上至急十八圓八十錢、三分後に一分毎に何れも二圓八十錢、至急倍額である

哀れ姙婦自殺　江名

戸數割委員會開始
本會議は五、六日頃か

一日の市會で委員附託となつた十四年度特別稅戶數割は今三日から左記五方部に分けて小委員會が開かれて大体明四日で終了、五十圓以上の分は特別委員會に附されるので本會議は五、六日頃になるだらう

（東部）三、四、五町目、月見町、立町、鎌田町、堤ノ内、大工町＝大谷、鈴木光、多田井、鈴木庫荒川

（西部）長橋町、古銀冶町、材木町、研町、掻槌小路、八幡小路、久保町、紺屋町＝川崎、吉村、吉田寅、山野邊、永山

（北部）胡摩澤、北目、鍛冶屋、田町、南白銀、北白銀、仲間町、舊城跡、番匠町、鹿匠町、柳町、＝野崎、酒井、金子、藤田、高橋、蓮沼、佐藤

（中部）鍛冶町、十五町目、大町、一、二丁目、南町、新川町＝大嶺、萩原、鈴木彌、吉田五、菅本、關内

（舊平壌村）全部＝矢吹初、矢吹亀、松崎、松本、鈴木庄

養正會演說會

養正會縣第三區聯合支部では本部幹事森尾津一、神戸市内の電話加入者が一昨一日から北京及び天津（外國租界を除く）と通話する事が出來る樣になつた。通話の相手方を指定する『指名通話』の取扱ひがあり、急ぎの場合は至急通話として申し込めばよいと、通話は午前八時から午後十一時迄で料金は次の通りである

最初の三分迄、番號通話普通八圓四十錢、至急倍額、指名通話十圓四十錢同上至急十八圓八十錢、三分後に一分毎に何れも

平と北京天津間通話
一昨一日から開始

野崎議長
視察講演會

鮮滿支視察の旅から歸つた縣議市會議長野崎一滿藏氏の視察報告演說會は七日午後七時から市公會堂に開催、一般の來聽を歓迎する

寸暇も無い昨今に書面と新聞
樂みは

鈴木一夫少尉（通信）
材木町出身

承前。一方して殊に墨痕鮮かな紙のお彼地との連絡が一時絶たれに於ては警備とのいつも變りないのが嬉から討伐に參し く感じられ母上が身邊の加する一方又こと感じられる思ひが致すこれらの兵隊のであります。を早く戰闘のお役に立つやう教育をせねばならぬので今の處一寸暇が見つからぬ狀態です。新聞は全くのたのしみに

只今は有難な○○のすぐ南に居るのでありますが何わ遠からず再び古巣に歸る筈になつて居ります。

一時手筆が大變遲れたよの事でありますが、それは現在の處へは○月中旬にさて、失禮致しました。移つたためでありますが今迄お便りした如く街は極めて平穏な處です（中略）爲に今迄色々と餘計な御心配をかけた樣な次第でありますが御手紙と同時に新聞、同御休めの程を御願ひ申上げます、只今は家族の者は銃後の皆々樣に御願ひして何

御慰問深謝

櫻田福治君
紺屋町出身

本日は御慰問狀並に懷しき郷土銃後の御樣子詳しく御知らせ下され誠に深謝致し居ります。

小生事暫らく御無知も致

元氣で活動

庄司政之君
櫻町出身

只今（六月二十二日午後六時）有難いお守りと御手紙を頂きまして本當に申上げる事の出來ぬ嬉しさを感じました。皆々樣には益々御達者の由爲邦家誠に欣快に堪へません。

私もお蔭樣で頗る元氣で活動して居りますから御安心下さい。

上海から蓮沼龍輔
…（第一信）…航空便、三十日午後着

航海も至つて平穏にして豫定通り今二十九日午後三時五分上海に安着仕り候

慰問使としての關係上檢査其他簡單にして出來申し候

伊關太郎君には船中より電報し置き申し候爲め御迎ひ下され伊關君には頗る元氣で預かり手紙本人に手渡し申候

元本縣庶務課員眞田重喜、安部信一兩君も船中迄御出で下され萬端御斡旋下され非常に便宜を得申候、着船と同時に在海記者團の訪問を撮影に多少面喰ひ申候

一、旅館玉は今野太郎君を申し相馬郡出身にして福島縣人は全部投宿なさる模樣で最近野崎氏も宿泊せし由

追後一日上海發南京に出發、中支慰問の上八月六日には上海に歸る豫定に候。時節柄御健康に御留意下さる度候

六月二十九日　午後五時

南京安着

一昨一日南京に安着の旨同夜電報あつた

（註、第一信中の伊關太郎君は市出身の東亞同文書院生徒）

杉林で男女の劇藥心中体を
山林監視人が發見、平署で檢視したが身許不明、死後三日位經過してゐる

男は洋服に鼠色のレーンコートを着てズボンのバンドは麻繩、一見坑夫体の三十七、八才で女は銘仙の單衣を纏ふた三十二三才位、夫婦ものらしい

金融相談
日本興銀
六日公會堂で

日本興銀の第二回巡回金融相談は六日午後一時から市公會堂日本間に開設

花は散るとも
泉下に笑む豐田伍長
實弟宛の遺言狀屆く

去る九日鐘祥地方弟實君（三）に宛て『丈夫の趙家崗附近の激戰花は散るともとこしへに九段の櫻咲きにける』の辭世を添へた遺言狀、既に死を決しての出陣だつた事が窺はれる

入營以來軍人精神を磨き身命を鍛練し一人前の帝國軍人として祖國の生命線の第一線部隊員として今日まで御奉公致しました、幸な勝一でした、益々皇威を宣揚（略）帝國軍人の本分を全うする覺悟です、幸に出動致すことになりました、至誠奉公をモットーとし大君の御爲に一命を捧げ

丈夫の
發動機界の大權威吉田四郎氏長逝
五日中島飛行機で社葬

中島飛行機株式會社取締役東京製作所長吉田四郎氏は市内白銀町舊藩勘定方吉田貞之進氏（櫻田門外事變の際に於ける扈從者の一人）の四男、先代禮次郎氏の實弟で少年時代より劉苦精勵、長じて海軍に入り累進覺に特務機關大尉に昇進、發動機に關する部内切つての權威として曩年大戰後の歐米各國に派遣され研鑽努力の上我が海軍航空界に遺した功績沒すべからざるものがあり大正十四年中島飛行機に入り最高技術者として今日に至つた人である

情の人で仕事の權化
崇高な故人の風格

發動機界の大權威吉田四郎氏は市出身の東亞同文書院生徒）

人の本分を全うする覺悟です、幸に出動致すことになりました、至誠奉公をモットーとし大君の御爲に一命を捧げ

護國の鬼と化し東洋平和の礎となる覺悟で居ります故母妹を奥れ〜もよろしく御願ひ致します

（原文）

作所於て社葬を執行する氏は市内白銀町舊藩勘定方吉田貞之進氏（櫻田門外事變の際に於ける扈從者の一人）の四男、先代禮次郎氏の實弟で少年時代より劉苦精勵、長じて海軍に入り累進覺に特務機關大尉に昇進、發動機に關する部内切つての權威として曩年大戰後の歐米各國に派遣され研鑽努力の上我が海軍航空界に遺した功績沒すべからざるものがあり大正十四年中島飛行機に入り最高技術者として今日に至つた人である

平商一勝一敗

昨日水戸に遠征

晴の檜舞台を目指して好調を續けてゐる平商野球部は二日水戸に遠征、さきに迎へた水商、茨中と一戰を交へたが左の如く一勝一敗の戰績を收めた

	水	茨	平	商
平商	2	0	0	0
商	0	0	0	3
平	4	0	0	5
中	2	0	0	0
茨	2	0	0	0
水	0	0	0	A
	1	0	1	8
	3	0	0	5

戰中戰後を聽く
……（447）……

白梅便箋
忠孝便箋
文鳥便箋
菊日本便箋
香取封筒
住吉封筒
東亞封筒
松竹梅封筒
特約店　魁文堂
電話三一三番

▲一白　地の利は無けれども人の和はありて通で吉し▲二黑　内に屈する所ありとも外には大にのびる日▲三碧　早呑込みするときは意外の失敗を招くべし▲四綠　苦は身を磨くのといしと思ふて辛抱すべき日▲五黃　身をひくふして根限り働くときは大吉となる▲六白　外に出でゝ人の口舌を聞くよりも内か安全▲七赤　内を飾く整理する時は外は自ら順調となる▲八白　運氣吉に向つて開け行く日▲九紫　運氣じうたいあせるほど躓きあり萬般注意

暦注　火曜　新七月五月十壬寅　佛滅　成　八十　日室宿　日四月

四日
【小名浜興業所觀劇】
電話前三、一五　後五、二五　千鳥前一〇、三五　後一〇、四五

平市新川町
北川外科
電四六四

お醤油は……ヤマフル
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命營城代理店　山崎與三郎

（金銀貸借貯蓄）
時計メガネ
平時ネヒモトへ

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
◎時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
卒業期間　四ケ月（高女卒程度）十ケ月（小高卒程度）
◎卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月　隨時
卒業期間　本科　一ケ年　速成科　六ケ月
文部大臣認可
平陽女學校
（平市　電話四四五番）

平市田町（電話五三一番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥剤士　佐竹常雄
内科　小児科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
（入院隨意　病室完備）